

# われらが母校！！

令和6年度 北九州市立菅生中学校通信 その5 文責 田中彰一

## ○環境が人を育てる

環境がいいと不思議なほどに人は育つものです。

もちろん逆も真なりです。

「もう少し環境が良かったら」などと言いつても仕方ありません。

大切なのは自分で環境をつくっていかうとしているのかどうかということです。

たとえば、日々もくもくと掃除ができる人は幸せになる人です。

いつも自分の身の回りを、きれいにしておく努力をしましょう。

そうすると色々なことに「気づく」ようになります。

また、整理整頓ができると勉強の能率も上がります。

環境が整うのを待っていてもダメなのです。

自ら「環境をつくる」人になってください。

高価なものや新しいものがなくても環境を整えることは可能です。

自分にもできることで少しずつ改善していきましょう。

## ○トイレの神様に考える

もう一つ、掃除に関する話題です。

おそらく、生徒の皆さんが生まれた頃だと思います。

「トイレの神様」という歌が流行った時代がありました。

私も大好きな歌で授業の教材にしたこともあります。

「トイレ掃除を頑張ったら女神様みたいになれる」という歌です。

「おばあちゃんへの想い」も実に素直に表現されています。

誤解のないように書いておきます。

女神様みたいになることを目指せというわけでは決してありません。

ただ、掃除を頑張ることで幸せになれるという考え方に共感したのです。

学級担任だった頃は学校中で一番きれいな教室を目指していました。

居心地の良い空間で、すくすく成長してほしいと考えていました。

あまりにも掃除の時間に熱心すぎて生徒から作文の題材にされたことがあります。

タイトルは「掃除の国からの使者」でした。

きっと口うるさい先生だったのでしょう…。

部活動の顧問だった頃は市内で一番きれいな武道場を目指していました。

「雑巾がけ」を一生懸命に行ったものです。

「われらが母校」も「美しく輝く学び舎」であることを願います。

生徒の皆さん、どうぞ毎日の掃除を頑張ってください！！